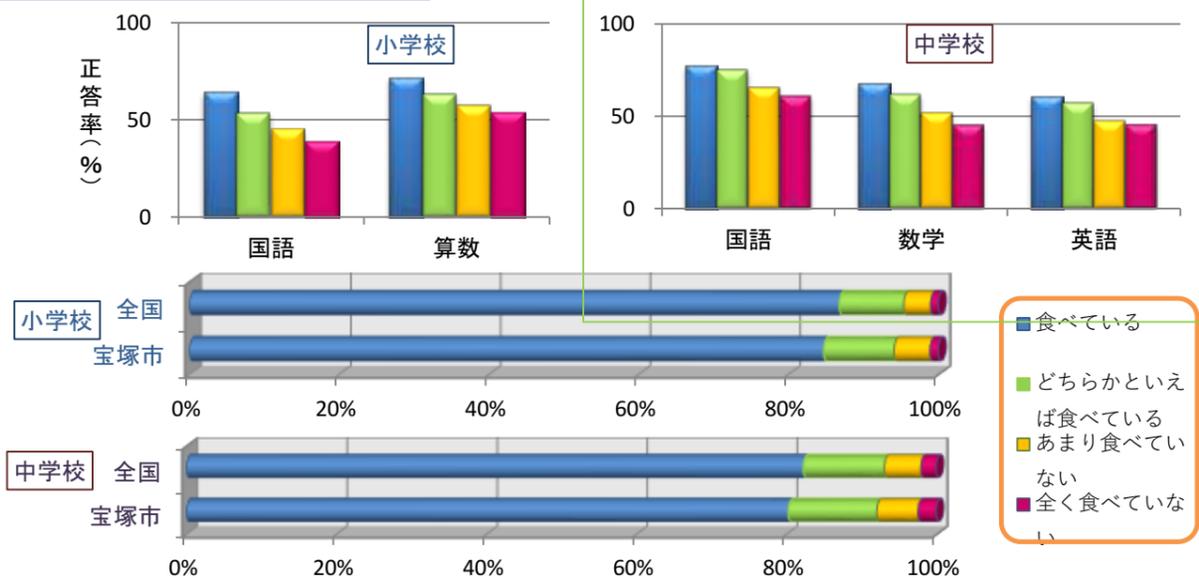


食習慣・生活習慣・学習習慣・読書習慣の「4つの習慣」の安定が学力向上につながります！

※縦グラフは、質問の答えと学力との関係を示しています。

Q. 朝食を毎日食べていますか？

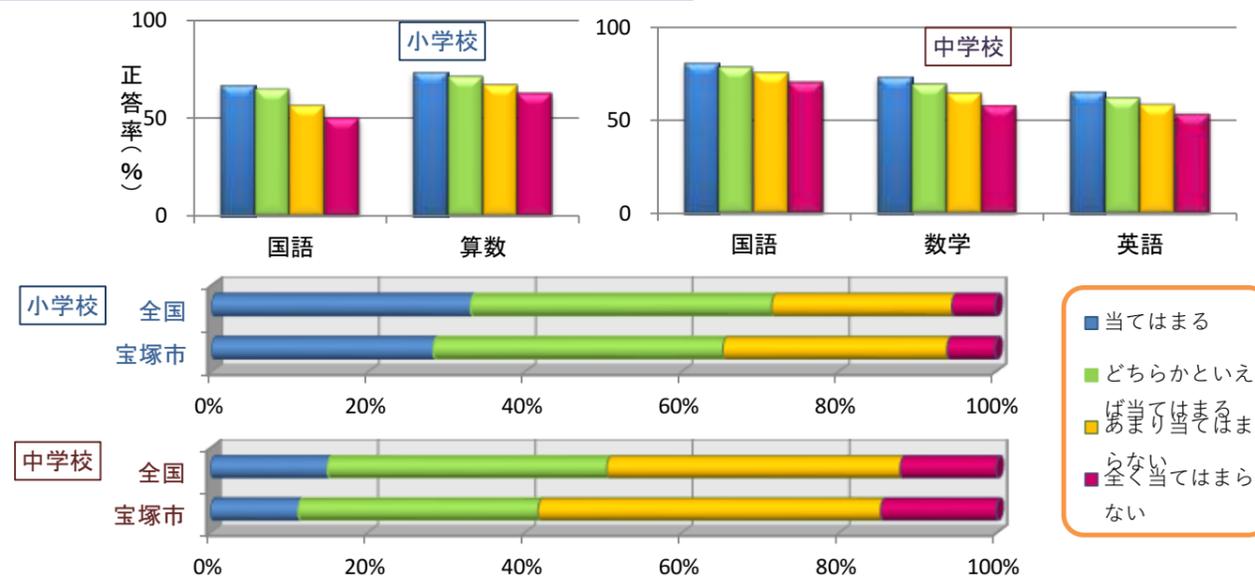
「朝食」をしっかりって、体も頭も調子よくしましょう。



宝塚市の小学6年生の、朝食を「毎日食べる」「どちらかといえば食べている」割合は、昨年とほとんど変わりませんが、中学3年生は少し増えています。しっかりと朝食をとることは、規則正しい生活習慣の基となり、健康な体をつくります。また、毎日朝食を食べている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られることから、朝食をとることは学習面でも効果的です。

Q. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？

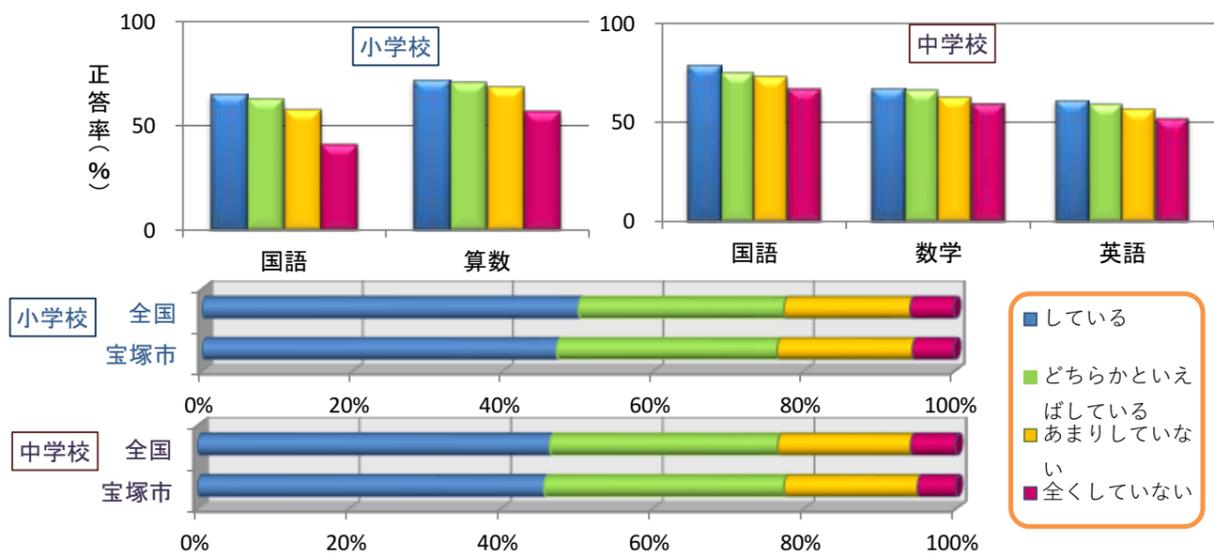
家庭学習で、授業内容をしっかり理解しましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど、正答率が高くなっています。子どもが自主的に学習計画を立て、宿題をする時間を決めたり、自分に合った方法で復習や予習ができるよう、家庭でのご支援をお願いいたします。本読みを聞いてあげる。宿題ができたか見てあげるなど、子どものがんばりを認め、励ますことで、より自主性が高まります。

Q. 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか？

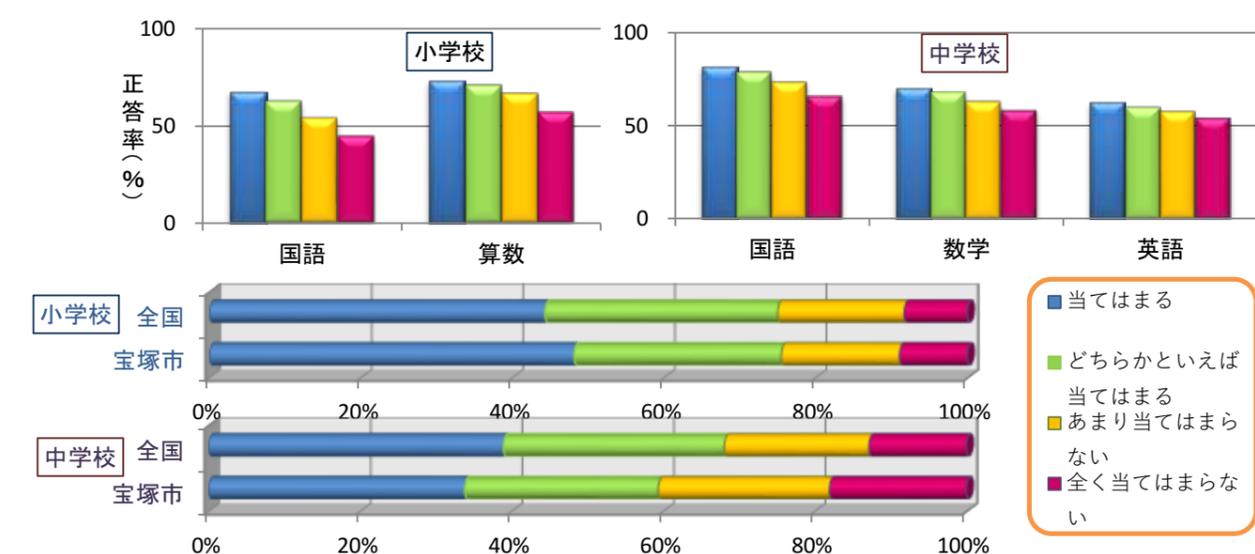
学校であったことを、家の人と語り合しましょう。



家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒ほど、正答率が高い傾向が見られることから、家の人子どもが学校の生活に関心をもち、会話する機会が多い方が、子どもたちの学校でがんばろうという気持ちが高まると考えられます。宝塚市の小学校6年生は、「話をしている」割合が全国平均を下回っており、家での会話が 증가するように、家庭・学校・地域で意識を高めていくことが必要であると考えられます。

Q. 読書は好きですか？

読書はコミュニケーション力の育成にもつながります。



宝塚市の小学6年生は読書が好きといえます。読書は言葉を学び、感性を磨き、教養を高めると共に、いろいろな考えを思い巡らすことで、相手の気持ちを思いやって自分の考えを伝えるなど、コミュニケーション力の育成にもつながります。また、一生心に残るような本との出会いが大きく人生を変えることもあります。一日10分でも読書に親しむ時間を持つことが、ことばの力を高め、読書好きな子どもを育てる第一歩です。